

異文化との心のせ

つくば通信

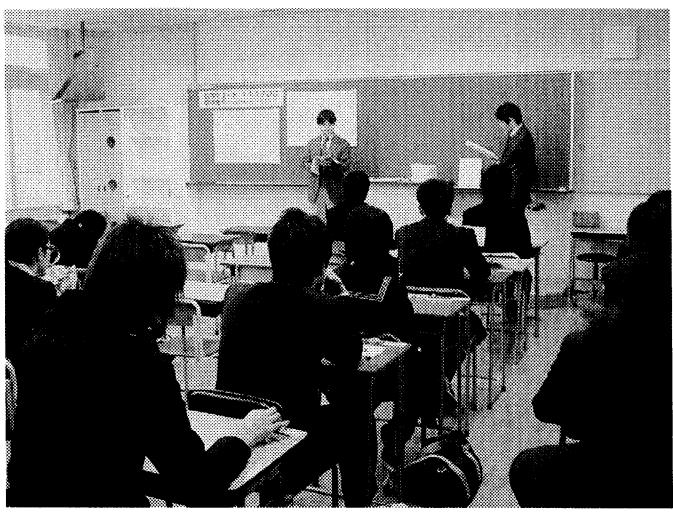
(27)

村田 佳子



今年も1月20日、21日と約55万人が志願した大学試センター試験が実施されました。受験生にとって春を迎えるまでのラストスパートの時期でしょうか。

他の国の受験、進路選択とはどんな風なのでしょう。来日したエンジニアや農業・環境関連の研究者の皆さんに、母国での受験事情や進路選択について時々うかがってみると、「どうしてこの仕事を選んだの?」という問い合わせに答えてきました。父親が同じ職業だった医師にならなかつた人がいて、学費が払え



ガンバレ 受験生!

た男性は、私が「職業を選ぶ」という言い方で問題を「選ぶ」という感覚で見ました。私は、「どうしてこの仕事を選んだのです。小学校へ通える人、通えない人、その中でも中学や高校へ進める人、進めない人がいて、学費が払えない」とおっしゃいました。父の場合は進学できず、必然的に失業する可能性が高くなるのがそうです。日本のようにさまざまな商業や工業などの業種がある国と違い、子供のじいから「勉強しなければ、通学途中に見かける道端で物乞うする人たちのよ

う怖心を常に抱いていたといいます。

公立大学が各都道府

ないじょや出産・育児などでも、中止する人も多い国。そして高校卒業時に行われる共通試験の点数によって大学へ進学できる人は限られており、他国からの奨学金を受け取るために試験に挑戦します。合格するには狭き門で留学できる国や大学

得点によって進める学部が自動的に決まるのです。

得点が足りないから次年に再チャレンジという選択肢はない

人が多いのです。モンゴル人、ラオス人などは多いよ

く、医学部、工学部、教育学部など、点数で振り分けられそれを享受するしか

ないと話しまして。大学入学に満たない得点の雪の庄内でも、入試も貴重ですから。

のために机に向かってい

る高校生、中学生がいる

立つのだろうか?」ふと思いつくことがあります。そして試験官が「やめ

ました。でも思っていました。でも今はもうと勉強すればよかったと後悔しています。(吉岡

受験シーズン開幕を接げ
る入試センター試験が今
年も行われました

うになってしまつ」とい
う恐怖心を常に抱いてい
たといいます。

公立大学が各都道府
県に個性的な私立大
学も存在する日本と違
うといたら、数学的な思
考は論理的に話すとき
が多く、留学を余儀なくさ
ないことがあります。し
かしながら私費で留学す
ることは困難で、国費や
アフリカ南部、スワジ
ランド王国から野菜栽培
技術を学ぶために来日し
た男性は、私が「職業を
選ぶ」という言い方で問
題を「選ぶ」という感覚
で見ました。私は、「どうしてこの仕事を選んだのです。小
学校へ通える人、通えない人、その中でも中学や
高校へ進める人、進めない人がいて、学費が払え
ないじょや出産・育児な
どで中学や高校の学業を
中止する人も多い国。そ
して高校卒業時に行われ
る共通試験の点数によつ
て大学へ進学できる人は
限られており、他国からの奨学金を受け
取るために試験に挑戦し
ます。合格するには狭き
門で留学できる国や大学
得点によって進める学部が自動
的に決まるのです。

得点が足りないから次年に再チャレンジという選択肢はない人が多いのです。モンゴル人、ラオス人などは多いよく、医学部、工学部、教育学部など、点数で振り分けられそれを享受するしかないと話しまして。大学入学に満たない得点の雪の庄内でも、入試も貴重ですから。

ののために机に向かってい

る高校生、中学生がいる

立つのだろうか?」ふ
と思いつくことがあります。
そして試験官が「やめ

ました。でも思っていました。でも今はもうと勉強すれば

よかったと後悔しています。(吉岡

市出身 JICA筑波国
際センタークリエイター)